

# 市原地域・職域連携推進事業 平成30年度～5か年計画

## 【5年計画(H30～34年)】平成32年度に中間評価及び計画の見直しを実施

目的 市原地域・職域連携推進協議会運営要領（第2条）

協議会は、市原保健所管内の地域保健と職域保健が連携し、心と身体の健康づくりを通じた生活習慣病の予防と健康寿命の延伸を図るために、管内の行政機関、事業所及び医療保険者等の関係者が相互の情報交換を行い、保健事業に関する共通認識のもと、それぞれが有する保健医療資源を相互活用、又は保健事業の共同実施等により、地域特性に応じた協力体制による継続的な健康管理が可能となるような体制を構築する。

…努力目標(達成を目指して努力する)  
 …達成目標(達成すべき水準)

### 大目標1 たばこ対策の推進

#### 中目標1 受動喫煙の害から健康を守る環境を整備する

- 小目標 ① 受動喫煙防止対策の実態調査の実施（H29年度、33年度実施）
- ② 施設管理者に対し、受動喫煙防止対策の必要を周知するための健康教育の実施
- ③ 喫煙環境表示ステッカーの掲示

#### 中目標2 喫煙(受動喫煙を含む)に関する正しい知識を普及啓発する

- 小目標 ① 喫煙状況の実態調査の実施(H29年度、33年度実施)
- ② 喫煙の健康被害等に関する健康教育の実施
- ③ ホームページに禁煙教材や強化月間イベント情報等を掲載
- ④ 禁煙外来の紹介(チラシ配布等)

### 大目標2 生活習慣病対策の推進

#### 中目標1 健康づくりのための食環境を整備する

- 小目標 ① 健康教育の実施
- ② 減塩、野菜摂取の啓発「グー・パー食生活+チョコキ」\*の活用
- ③ 健康ちば協力店における取組の推進
- ④ 事業所給食施設における取組の推進

#### 中目標2 糖尿病の発症と重症化を予防する

- 小目標 ① 糖尿病に関する正しい知識の啓発と受診勧奨
- ② 健康教育の実施

#### 中目標3 青壮年期から認知症を予防する

- 小目標 ① 認知症予防に関する正しい知識の啓発
- ② 健康教育の実施

平成30年1月29日 一部修正

| 評価指標                                    | 現状値 (H29年度)                 | 目標値 (H34年度)              | 備考      |
|---|-----------------------------|--------------------------|---------|
| ①受動喫煙防止対策に取り組む事業所の割合                    | 66.7%                       | 75%以上                    | 協議会調査   |
| ②喫煙環境表示ステッカーの配布施設数                      | 212件<br>(H29年12月末時点)        | 1500件以上                  | 年度末の集計値 |
| ③日常生活(職場、飲食店)で受動喫煙の機会を有する者の割合           | 職 場: 36.9%<br>飲食店: 56.8%    | 職 場: 20%以下<br>飲食店: 35%以下 | 協議会調査   |
| ④事業所における喫煙者割合                           | 33.1%(43事業所)                | 25%以下                    | 協議会調査   |
| ⑤市民の喫煙者割合                               | 21.2%<br>(男性:34.1% 女性:8.5%) | 16.5%以下                  | 協議会調査   |
| ⑥受動喫煙の影響について「健康に非常に悪い影響がある」と認識している者の割合  | 81.6%                       | 90%以上                    | 協議会調査   |
| ⑦喫煙の影響について「心臓や脳等の血管に悪い影響がある」と認識している者の割合 | 88.6%                       | 95%以上                    | 協議会調査   |

| 評価指標                                | 現状値 (H29年度)                        | 目標値 (H34年度)              | 備考                                  |      |
|-------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|-------------------------------------|------|
| ⑧グー・パー食生活を知っている者の割合                 | 12.2%                              | 30%以上                    | 協議会調査                               |      |
| ⑨栄養成分表示を活用する者の割合                    | 男性:40.8%<br>女性:61.0%               | 男性60%以上<br>女性75%以上       |                                     |      |
| ⑩生活習慣病の予防や改善のために、食事に気をつけている者の割合     | 19.7%                              | 50%以上                    | 年度末の登録数                             |      |
| 減塩・野菜たっぷりメニューに取り組み飲食店等(健康ちば協力店)の店舗数 | ⑪塩分控えめメニューを提供する店舗数                 | 12店舗<br>(平成29年12月末時点)    |                                     | 17店舗 |
|                                     | ⑫ヘルシーオーダー(減塩)に対応する店舗数              | 54店舗<br>(平成29年12月末時点)    |                                     | 65店舗 |
|                                     | ⑬野菜たっぷりメニューを提供する店舗数                | 28店舗<br>(平成29年12月末時点)    | 33店舗                                |      |
| ⑭健康に配慮したメニューを提供する事業所給食施設割合          | 78.5%(22施設)                        | 100%(28施設)               | 保健所調査                               |      |
| ⑮ヘルシーオーダーへの対応(減塩の対応)を行う事業所給食施設割合    | 57.1%(16施設)                        | 100%(28施設)               |                                     |      |
| ⑯HbA1cが6.5%以上の者の割合                  | 地 域:6.5%(H27年度)<br>事業所:6.2%(H29年度) | 地 域:5.7%以下<br>事業所:5.7%以下 | 地域:特定健診結果(国保加入者40～64歳)<br>事業所:協議会調査 |      |
| ⑰糖尿病の合併症として腎不全(人工透析)を知っている者の割合      | 82.5%                              | 95%以上                    | 協議会調査                               |      |
| ⑱生活習慣病予防が将来の認知症予防につながることを知っている者の割合  | 56.9%                              | 65%以上                    |                                     |      |

\* グー・パー食生活+チョコキとは  
 → グー・パー: 1食のおかず(主菜・副菜)の目安量、♯チョコキ:食塩カット